

「はやぶさ」357号 2020年10月30日(金)

ボード型マネジメントゲーム「**経営特くんゲーム=KTG**」で

企業経営の擬似体験を積み、「企業経営のゴールド免許」を取得する

####name#### 様

◆はじめに・開発コンセプト・特徴

*開発のコンセプトは、中小企業や個人事業主が、折角起業されたり後継者に抜擢されても何の訓練も受けずに、無免許で高速道路に出ていくようなハイリスクな運転で、事故（倒産・多大な債務状況・・・）で、自分の人生や家族・協力者を巻き込んでしまうことが多発しており、特にコロナ禍とアフターコロナでは加速するでしょう。教習所で少なくとも仮免許のレベルになって、企業経営の「ハンドリング・アクセル・ブレーキの操作」を体得して、道路に出てもらえることを念じて開発しました。

*KTGは開発に丸2年間かかり、実証テストを多くの協力者の支援を得て、提供しております。基本設計と商材化を①Captain 平本が担当し、②石川 SU がエクセルで、マネジメント会計3表（資金繰表=MO・損益計算書=P/L・貸借対照表=B/S）と経営指標分析や集計検算システムを制作、販売促進とインストラクターを③田村診断士が担当して、チームで推進してきました。実務経験を積んだ、ベテランが現場で役立つように、工夫を続けて普及を推進しております。

*従来のルーレット型 **MG** との差別化

- ①極めてローコストである。器材の購入価格や受講料が、10分の1以下である。
持ち運びもワンカートン・サイズで楽々出きる。
- ②スコアをつける会計様式が、一般的に使われている会計システムに準じてシンプル化されており、簿記の知識がなくとも起伝がやればできる。（マトリックス会計は使わない）
- ③社内でインストラクターを養成してやれば、都合の良い時間帯で継続的に開催できるので、職場内やグループの小集団活動に向いている。

*体が覚える迄、運転するのが、無事故の「**ゴールド免許**」取得のコツであります。

是非、体験してください。 **You tube** をご覧ください。（社名が異なりますが、グループ企業

ですのでご安心ください） https://www.youtube.com/watch?v=MBPfJfR_wNI

~~~~~

「はやぶさ」357号 2020年10月30日(金)・・・5回シリーズ

【第1回】履修するとどんな能力が身につくか？

## 事例① チャレンジ１００・小規模部品メーカーの例

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

・プロフィールは<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

~~~~~本文~~~~~

1、履修するとどんな能力が身につくか？

①企業経営を始める人の、教習所です。 起業する前にしっかりと身に付けましょう

30回は練習しましょう。、100回でゴールド免許が取れます。

②「仕事の基本」を体験して、仕事をスムーズに進める習慣とチームワークが身につ

きます。無伝票で、品物もお金も決して動かさないことが大事なことで、月次棚卸

の実施が、原価計算や品不足対策に大事であることが、理解できます。

③会計の基本が覚えられます。損益計算書（P/L）貸借対照表（B/S）資金繰表（MO）

・・・会計の知識・経験がなくとも手順に従えば誰でもできます。

④先を考えて、判断する、安全な選択は何か等の、経営マインドが体験できます

・・・・100回やれば身につきます。

⑤経営の基本は、①売上の獲得 ②キャッシュ・フロー が持続のカギですので、

そのノウハウが体得されます。

⑥ゲームの過程でコミュニケーションの訓練ができ、チーム力が身につきます。

⑦自分の意思決定や判断能力の傾向性が自己判断できます。

インストラクターのアドバイスにより、収益力がUPして、財務力が強化されます。

*これらのノウハウが身に付きますが、その解説を次回から事例を交えて易しく説明します。

2、事例①・・・「チャレンジ 100」＊職場内訓練（OJT）の展開事例

認定インストラクター経営特訓士のK氏は、埼玉県川口市のゴム製品メーカーの管理部長（当時：現在は起業してプレイング CEO を担当中）です。

K氏は、自社の社員および取引先や友人・知人に対してKTGを普及するべく、約1年前（2013年）にKTG同好会として、「チャレンジ 100」を立ち上げました。

「チャレンジ 100」とは、マネジメントゲーム（MG）のパイオニアである西順一郎氏も、100回やることを推奨しておられ、ソフトバンクの孫社長もグループ内の経営責任者の登用には、この実績と成績を参照してました。繰り返し訓練し、100回チャレンジしようとの思いを込めての命名です。

「チャレンジ 100」の実施状況をK氏に取材しましたので、以下に、ご紹介します。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

1、1卓4名で、毎回2～3卓、参加者8～12名でKTGにチャレンジしています。

過去1年間で12回（ゲーム数では約30回）実施しました。受講登録者数は、32名になりました。3年間で100回を終了し、そのメンバーの有志が集まって、2016年に新会社を設立し、CS本位で同業と差別化した経営を行い進化・発展しております。

2、1ゲームの所要時間は約1時間。その後、期末処理をして、資金繰り表（M/O）から、

数字を貸借対照表（B/S）と損益計算書（P/L）に転記して、資産・負債・資本の状況と収益状況を把握します。

その作業（マネジメント会計3表の作成）に最短で約1時間かかりますので、

1 ゲームの所要時間数は、最短で約2時間となります。

1日に2～3ゲームを実施しますので、所要時間は、休憩と昼食時間を含んで、合計約7時間。公共施設を借用していますが、土曜日の開催が多く、参加しやすい日時を選んでいます。（9：30～16：30）

3、自分が勤務するゴム会社の社員対象では、別途、5回実施しました。

作業終了後の自主参加方式です。

最初は、1ゲームの所要時間（ゲームの実施と、その後の電卓による事務処理＝マネジメント会計3表の作成）に約3時間が必要でしたが、慣れてきますと、約2時間でできるようになってきました。

訓練が進むと、資金繰り表1枚（1ゲーム・24回）、誰でも約2時間で3表のまとめができるようになります。

4、受講者の一人で協力工場、A社長（加工業）のコメント

従来、会計業務は、税理士に丸投げしていたが、KTGを数回やるうちに、社長自身で基礎数字は手掛けるようになり、数字で先を読む訓練が体得でき始めている。
経営特くんゲームは素晴らしい！

5、ゴム会社の同僚O部長の事例

普通高校出身で、技術畑一筋。簿記の知識はほぼ皆無でしたが、KTGをやるのが「とにかく楽しい」と言っており、今まで見向きもしなかった日商簿記3級試験に近々、チャレンジすることを構想しています。。

また、部下への指導、アドバイスも現場主義になり、「受払い＝入出庫」や「棚卸し」の大切さや、「整理・整頓＝2S」を格別厳しく指導しております。

そうした習慣が身につく、在庫切れや余計な資材は購入しない。報・連・相+確認が良くなり、生産性の向上や不良の減少など、収益力もあがり顧客満足度（CS）も企業間競争に勝てるようになり、受注増に結びついていると実感しております

以上のごとく、「チャレンジ100」の運営状況は、とても盛り上がっており、参加者の意欲も、徐々に高まって、実務に役立っております。

【ワンポイント・アドバイス】

①仲間がインストラクターをやり、和気あいあいと進められて取組み安い。

- ②職場内では、仕事の具合を見ながら開催を決定して、参加者に負担感を持たせない。
- ③何よりも、現場直結で効果を肌で感じてることが、持続のポイントとなっている。

＊次回 20・11・13（金）は、K T Gを体得するステップアップの道程と
A商工会議所での集団受講の事例をご紹介します。

~~~~~【お願いいたしたき事】~~~~~

◆クラウドファンディングに是非参画して、「理念経営実践のすすめ」を読んでいただき是非愛する人達へ伝えていただければ幸いです。

◆具体的な実行計画は、改めて「**READYFOR**」で近々、ご案内させていただきますの

でよろしくをお願いします。＊＊本のイメージは

[https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls723lpdf\\_1\\_180.pdf](https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls723lpdf_1_180.pdf) を  
参照ください＊＊

Captain 平本靖夫 著 HosBiz ミロク出版舎 ￥2000円（税別）

＊ ＊ ＊ ＊ ＊魂の同窓会＊ ＊第 22 回 HosBiz 清豊セミナー（LW セミナー）のご案内＊ ＊  
20・11・17（火）・会場：JR 御徒町南口・徒歩 3 分・講師：Captain 平本 詳しい内容と  
開催要領は [https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls723lpdf\\_1\\_180.pdf](https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls723lpdf_1_180.pdf)  
をご覧ください

~~~~~  
#357号より、新シリーズになり隔週・金曜日に戻りますので、よろしくお願いします。
次回は、20・11・13（金）にお送りいたします。
最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。
では、また次号で元気でお会いしましょう！

＊ ＊ お問い合わせ・質問は メールアドレス： hos_biz@hosbiz.net

発行責任者：平本 靖夫、 編集長：石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://1lejud.com/stepmail/dela.php?no=xxewhs&a_mail=###mail###